

平成 30 年度 京都市域地域医療構想調整会議

第 3 回 B ブロック 意見交換会

日 時：平成 31 年 2 月 25 日（月）14:00～16:00

場 所：京都府医師会館 310 会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議事

- (1) 各病院から「病院の役割と今後について」発表
- (2) 各団体の在宅療養等に係る役割と今後期待すること
- (3) 病床機能区分検討ワーキングの報告

4 閉会

【第3回】京都市ブロック部会出席者一覧(団体)

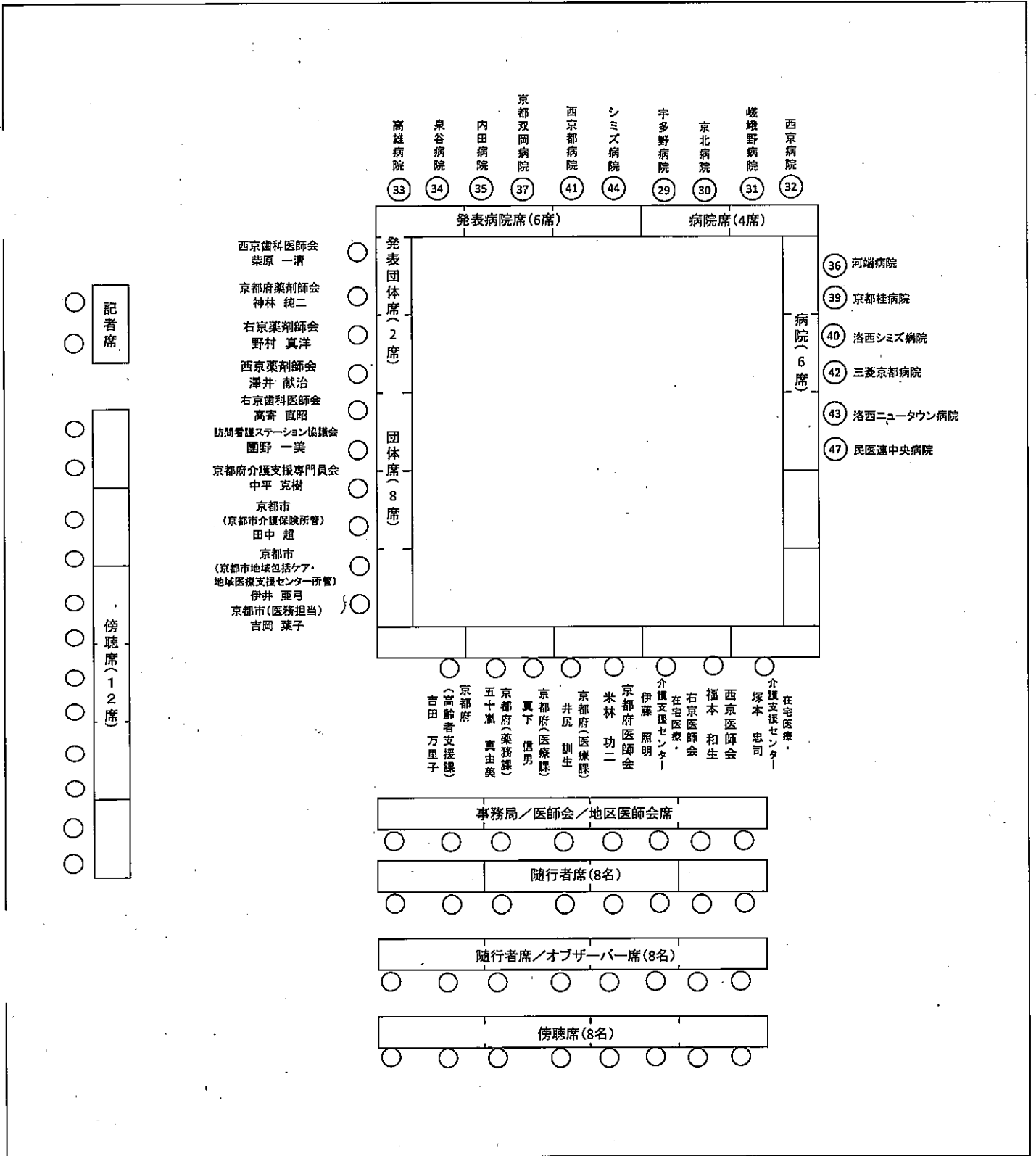
	団体名	役職名	就任者名
B ブ ロ ッ ク	京都府医師会	理 事	米 林 功 二 (座 長)
	右京医師会	—	伊 藤 照 明
	西京医師会	会 長	福 本 和 生
	右京歯科医師会	—	高 寄 直 昭
	西京歯科医師会	—	柴 原 一 清
	京都府薬剤師会	理 事	神 林 純 二
	右京薬剤師会	会 長	野 村 真 洋
	西京薬剤師会	会 長	澤 井 献 治
	京都府訪問看護ステーション協議会	副 会 長	團 野 一 美
	京都府介護支援専門員会	理 事	中 平 克 樹
	在宅医療・介護支援センター(右京区)	右 京 医 師 会	伊 藤 照 明
	在宅医療・介護支援センター(西京区)	担 当 役 員	塚 本 忠 司
	地域包括支援センター (介護保険、地域包括ケア・地域包括支援センター所管)	健康長寿企画課 担 当 課 長	伊 井 亜 弓
		介護ケア推進課 課 長	田 中 超
	京都市(医務担当)	医 務 衛 生 課 係 長	吉 岡 葉 子
	京都府	医 療 課 課 長	井 尻 訓 生
高 齢 者 支 援 課 担 当 課 長		吉 田 万 里 子	
薬 務 課 担 当 課 長		五 十 嵐 真 由 美	
医 療 課 担 当 課 長		真 下 信 男	

京都市ブロック部会出席者一覧

	No.	施設名	役職名	出席者名
右京	29	独立行政法人国立病院機構宇多野病院	院 長	梶 龍 児
	30	京都市立京北病院	医 療 政 策 監	由 良 博
	31	一般財団法人仁風会嵯峨野病院	院 長	小 松 建 次
	32	西京病院	理 事 長・院 長	松 井 亮 好
	33	一般財団法人 高雄病院	院 長	横 田 静 夫
	34	一般財団法人泉谷病院	院 長	泉 谷 梓
	35	医療法人社団松仁会内田病院	地域医療連携課長	林 徹 郎
	36	医療法人河端病院	理 事 長	河 端 博 也
	37	医療法人新生十全会 京都双岡病院	院 長	中 西 克 己
	38	社会医療法人太秦病院	欠 席	
西京	39	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	院 長	若 園 吉 裕
	40	医療法人清仁会 洛西シミズ病院	病 院 長	石 津 恒 彦
	41	医療法人弘正会西京都病院	院 長	吉 岡 豊 一
	42	三菱京都病院	病 院 長	小 野 晋 司
	43	洛西ニュータウン病院	病 院 長	松 室 明 義
	44	医療法人清仁会 シミズ病院	病 院 長	吉 田 享 司
	45	医療法人倅生会身原病院	欠 席	
中京	47	公益社団法人京都保健会京都民医連中央病院	病 院 長	松 原 為 人

B  
ブ  
ロ  
ッ  
ク

# 地域医療構想調整会議 Bブロック意見交換会



## 【Bブロック】第3回ブロック会議発表資料

団体名	ページ番号
西京歯科医師会	1 ~ 5
京都府薬剤師会	6

## 各団体の在宅療養等に係る役割と今後期待すること

団体名	西京歯科医師会
在宅療養等に係る役割	<p>口腔が咀嚼器官として噛める状態の口にする リハビリテーションによるオーラルフレイルの予防、 口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防</p>
在宅療養等に係る取り組みの現状と課題	<p>&lt;現状&gt; ・団体として 西京口腔サポートセンターを立ち上げ在宅訪問が必要な方への オファーがあった場合の窓口を設けている。 訪問協力医リストを作成しておりを西京歯科医師会の中でオファ ーのあった近隣の協力医に派遣依頼を行っている。</p> <p>&lt;課題&gt; ・団体として 訪問協力医の中でスキルの均一化が図れていない事や依頼患者と の訪問時間のすり合わせが困難等から、協力医に偏りが出ており 円滑な派遣方法を構築中である。</p>
病院との連携における課題について	<p>歯科の無い病院には、訪問診療できるので、依頼してほしい。 看護師へ口腔ケアの研修会を歯科衛生士とともに行うことにより必 要性を認識してもらう事ができる。 がん末期やターミナル期の患者さんに対して医科と協同して口腔 ケアを行い、在宅でのケアを十分に行う。 退院時カンファレンスに参加できるのが望ましい。 無理な場合、カンファレンス時に訪問歯科の申込をしてもらうこと により、在宅へ途切れの無いケアができる。</p>
在宅療養等に対する各団体、病院等に期待すること	<p>&lt;団体&gt; ・訪問歯科診療を行っている事を知らない在宅患者さんもまだまだ 居られるので、ケアマネさんに積極的に訪問歯科受診をすすめて頂 きたい。患者毎に口腔内の状態は異なっており、個別に細かな指導 が必要である。義歯が不潔になっていることも大変多い。 ・口腔内のことは、見えない、わからないことも多いので、一度歯 科受診をすすめて頂きたい。 認定調査票には、口腔清潔について1項目しかなく、嚥下、食事摂 取についても歯科的には実体を表していないので、不十分であり、</p>

	<p>注意して調査して頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービス健診では、ほとんどの方が定期的な治療を受けて居らず、口腔内が不潔になっており、通院も困難なため、訪問診療の受診が必要である。</li> <li>・地域包括ケアシステムにおいても歯科と介護の連携が必要となっているので、積極的に連携していきたい。</li> </ul> <p>&lt;病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん末期やターミナル期の患者さんへ最期まで口から食べることを目指し、入れ歯や歯科治療により口腔の機能改善を行い、適切な口腔清掃を指導する事により、患者さんの QOL 向上の一助となればと思う。</li> <li>・がん治療に伴う口内炎を未然に防ぐ口腔ケアと、発症した口内炎に対して口腔粘膜保護材（エピシル）を処方する歯科医科連携も今後、広めていく事ができると思われる。</li> <li>・管理栄養士など栄養サポートチームと連携して嚥下の改善をはかる</li> </ul>
--	--

認定調査票より

2-3 えん下について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. できない
--------	---------	---------

2-4 食事摂取について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. 介助されていない	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
-------------	---------	---------	--------

2-7 口腔清潔について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. 介助されていない	2. 一部介助	3. 全介助
-------------	---------	--------

# 平成30年度 介護報酬改定のポイント

～歯科・口腔と関連すると考えられる項目～

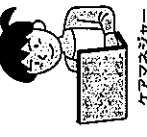
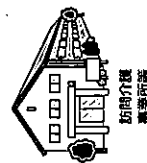
## 地域包括ケアシステムの推進

医療・介護の役割分担と連携の一層の推進

医療と介護の連携の強化としての

居宅介護支援事業所と医療機関との連携の強化

訪問介護事業所等から伝達された利用者の口腔に関する問題や服薬状況、モニタリング等の際にケアマネジャー自身が把握した利用者の状態等について、ケアマネジャーから主治の医師・歯科医師等に必要情報を伝達を行うことを義務づけ。【新規定】



必要な情報の例

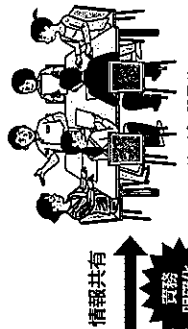
- 薬が大量に余っている
- 飲みきらないうちに新たに薬が処方されている
- 口臭や口腔内出血がある
- 体重の増減が推測される肩太目の変化がある
- 食事量や食事回数に変化がある

- 下痢や便秘が続いている
- 皮膚が乾燥しているなどの湿疹等がある
- リハビリテーションの提供が必要と思われる状態にあるにもかかわらず提供されていない状況

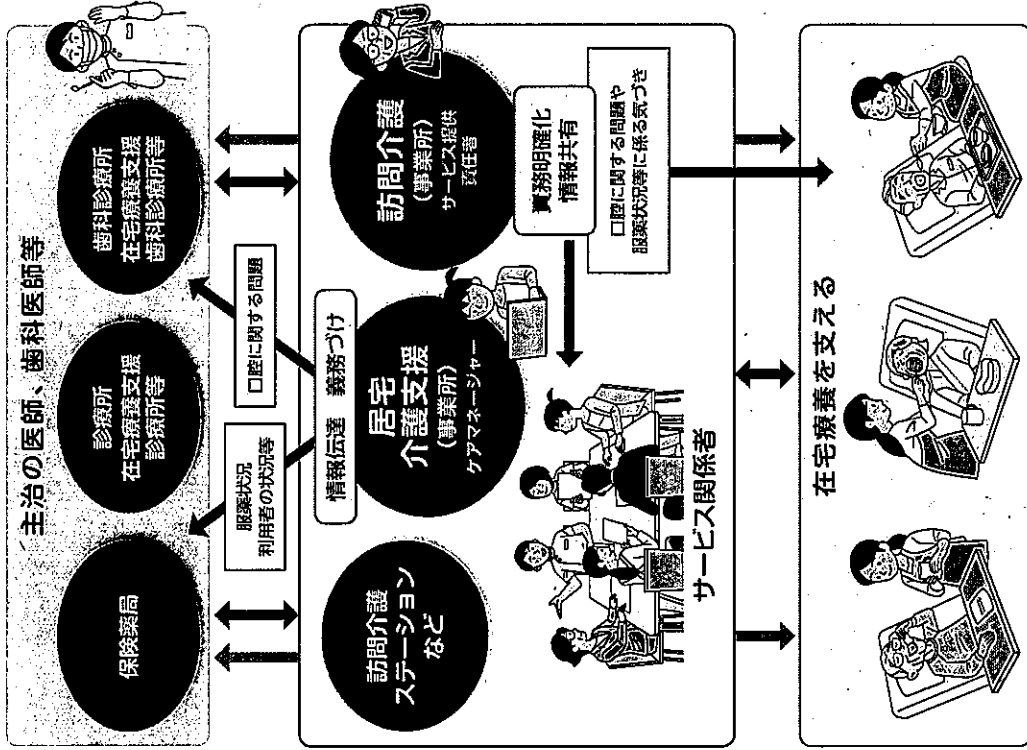
## 訪問介護におけるサービス提供責任者の明確化

訪問介護の現場での利用者の口腔に関する問題や服薬状況等に係る気付きをサービス提供責任者から居宅介護支援事業者等のサービス関係者に情報共有することについて、サービス提供責任者の責務として明確化。

【新規定】



## 医療と介護 連携強化





＼ お口の中をのぞいてみましょう!! ／



# 口腔ケア Check Sheet

チェックシート

## 汚れ

- 食べカス（食物残渣）  
などが残っていませんか？



## たん

- 上あごにネバネバした  
汚れ（たんなど）は  
ついていませんか？



## 口の渇き

- 舌や唇が乾燥していませんか？



## むし歯

- 歯に穴があいたり  
黒くなっている部分は  
ありませんか？



## 歯周病

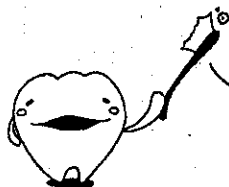
- 口臭が気にな  
りませんか？
- 歯ぐきから出血が  
ありませんか？
- 歯ぐきが腫れて  
いませんか？
- 歯がグラグラ  
していませんか？

## 入れ歯

- 入れ歯が合わなかったり、  
壊れたりしていませんか？
- 入れ歯が汚れていませんか？



当てはまるものがあれば、  
かかりつけ歯科医や  
施設協力歯科医師に  
ご相談ください。



一般社団法人 京都府歯科医師会



## 解 説

### 汚れ 歯周病

適切な清掃ができていないと、歯肉炎や歯周病の原因となり、歯ぐきからの出血や歯がグラグラしたり、口臭や口内炎の原因にもなります。  
また、脳梗塞などで、口の中の感覚が麻痺している方は、麻痺のある側に汚れがたまりやすくなります。

### たん

口から食べていなくても汚れやたんが固まってしまうことがあります。無理やりはがすと傷がついて出血することもありますので、保湿をして柔らかくしてから専用のスポンジなどで汚れを落としていく必要があります。

### 口の渇き

つば(唾液)の出る量が少なくなり、口の中が乾くと舌の動きも滑らかでなくなり、食べ物の味わいや飲み込みが悪くなり、口臭も出やすくなります。

### むし歯 歯周病

むし歯や抜けたままの歯の放置は、痛みの原因になったり噛み合わせが変わり、残っている他の歯にも負担がかかります。  
食べカス(食物残渣)もたまりやすくなり、歯ぐきの腫れの原因にもなります。

### 歯周病

歯周病は糖尿病などの全身疾患と関連性のあることがわかっています。糖尿病と言われている方は、より口の中を清潔に保つことが必要です。

### 入れ歯

入れ歯の支えている金具が折れていないか、ピンク色の部分や人工の歯が欠けていないか、汚れたままになっていないか、やせてしまった顎に合わず隙間ができていないかなどのチェックが必要です。  
入れ歯が合わないままで使用すると、歯ぐきを傷つけたり、痛みの原因になり食事が取りにくくなります。

**痛みなどの訴えや食事や会話などでお困りの様子がなくても、  
口の中の状態を評価・管理することが重要です**

- 食事が困難になる原因が、むし歯や抜けたままの歯の放置、歯ぐきの腫れなどではない場合、飲み込む力が衰えてきている可能性があります。口の中を清潔に保つことで誤嚥性肺炎の予防にも繋がります。
- 全身麻酔の手術を予定されている方(周術期)は、術前に口の中を清潔に保っておくこと(周術期口腔機能管理)で、術後の肺炎予防や入院日数の減少に効果が期待できます。
- 骨粗鬆症で薬を使用する前や、がんで放射線治療・化学療法を予定されている方も、事前に診察をして必要な部位の治療を終えておくことが必要です。
- 口腔機能評価や、継続的な口腔機能管理のために、かかりつけ歯科医を持つことが必要です。

## 各団体の在宅療養等に係る役割と今後期待すること

団体名	一般社団法人京都府薬剤師会
在宅療養等に係る役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 医薬品（麻薬等）の供給</li> <li>* 医療材料（ポンプ、ルート、ドレッシング材等）の供給</li> <li>* 衛生材料（おむつ等）の供給</li> <li>* 服薬状況、生活状況等の患者情報収集と共有</li> <li>* 薬物療法に関して、服用状況、効果、副作用等の情報収集と共有</li> </ul>
在宅療養等に係る取り組みの現状と課題	<p>&lt;現状&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体として</li> <li>* 在宅応需薬局の整備と名簿作成</li> <li>* 在宅応需薬局の在宅業務に関する研修の実施</li> <li>* かかりつけ薬局、健康サポート薬局の推進 (在宅療養等に関する相談、多職種への紹介)</li> <li>・ 個別施設として</li> <li>* 在宅応需体制の整備</li> <li>* かかりつけ薬局、健康サポート薬局への移行準備</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団体として</li> <li>* 療養者、多職種への薬局業務の紹介不足</li> <li>* 応需体制に関しての薬局間格差</li> <li>* 薬局間の連携不足</li> <li>・ 個別施設として</li> <li>* 応需体制の整備（人的制約）</li> <li>* 多職種連携不足</li> <li>* カンファレンスへの参加（人的制約）</li> </ul>
病院との連携における課題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>* カンファレンスへの参加（人的、時間的制約）</li> <li>* 病院薬剤部と薬局の連携がまだ十分とは言えない</li> </ul>
在宅療養等に対する各団体、病院等に期待すること	<p>&lt;団体&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 在宅応需薬局が見つからないときは、薬剤師会の在宅応需薬局の名簿を利用してください。</li> </ul> <p>&lt;病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 在宅応需薬局が見つからないときは、薬剤師会の在宅応需薬局の名簿を利用してください。</li> <li>* 麻薬、無菌調剤、医療材料等に対応できる薬局は在宅応需名簿に掲載されています。見つからないときは、薬剤師会へご相談ください。</li> </ul>

## 【Bブロック】第3回ブロック会議発表資料

行政区	病院名	ページ番号
右京区	一般財団法人 高雄病院	1 ~ 2
	一般財団法人 泉谷病院	3 ~ 6
	医療法人社団松仁会 内田病院	7 ~ 8
	医療法人新生十全会 京都双岡病院	9 ~ 12
西京区	医療法人弘正会 西京都病院	13 ~ 14
	医療法人清仁会 シミズ病院	15 ~ 16



## 【現状と今後について】

自施設の現状	<p>病棟・・・慢性期における医療・介護の必要度が高い患者様への対応に、積極的に取り組んでいる。</p> <p>外来・・・漢方治療や糖質制限治療を求める他府県からの患者様への対応も、積極的に取り組んでいる。</p> <p>通所リハビリテーション・・・要介護・要支援認定を受けられた方の身心機能改善を図ると共に、入浴・栄養管理等のサービスを提供している。</p>
自施設の課題	<p>訪問診療を担う医師・看護師の確保が非常に困難な状態であり、現在は限定的な訪問診療の実施にとどまっている。</p> <p>医師・看護師の確保に努力すると共に、訪問看護・介護ステーション事業者等との連携を更に強化し、高雄地区の高齢者の方達が安心して暮らせる状況を提供していくことが必要である。</p>
地域において今後担う役割	<p>地域連携室を中心として、高雄地域の住民との協力・連携体制を築き上げ、高齢者に対する医療提供を強化する。</p>
今後の展望	<p>慢性期医療のさらなる充実と、在宅復帰に向けた体制の整備を行い、高雄地区の高齢者対策に寄与する。</p>

## 病院の役割と今後について

### 【基本情報】

病院名	一般財団法人 泉谷病院
所在地	京都市右京区花園伊町 41 番地 7
許可病床数	71 床
病床の種別	一般 71 床
主な診療科目 (上位 3 つ)	総合内科・腎臓内科・一般外科
病床機能	急性期 71 床
主な病院機能	救急告示病院 (二次救急輪番) 在宅支援を担う病院 脳卒中 (維持期) を担う病院

## 【現状と今後について】〈一般財団法人 泉谷病院〉

### 自施設の現状

京都市病院群輪番制病院（二次救急）として、一次～二次救急の搬入依頼を、日勤帯はほぼ全例受け入れ、積極的に、急性期医療を提供している。

また緊急症例、重症疾患への対応のため、人工呼吸器 23 台、手術室 2 室、内視鏡室 1 室を有している。

そのため、当院入院中に重症呼吸器疾患から気管挿管・気管切開・人工呼吸器管理となる症例や、他院（主に京都大学や京都府立医科大学の附属病院、京都市立病院などの三次救急救命センター）にて人工呼吸器管理となった重症患者の受け入れが多いことも、特徴である。

一方で、近隣在住高齢者の自宅からのレスパイト入院や、在宅医療にむけての社会的資源（訪問サービス）調整目的での入院も、入院患者の過半数を占め、積極的な在宅支援を行なっている。

また、平成 29 年 11 月より透析外来を開設し、平成 30 年 4 月からは常勤で専任の腎臓内科医が着任している。主に、近隣に血液透析施設のない右京区の透析患者を中心に、住み慣れた右京区において、慢性期血液浄化療法を提供している。

### 自施設の課題

当院は、立院の目的として、救急救命を謳っている。

日勤帯のみならず、夜勤帯の救急搬送依頼にも、より応需できる体制を整えたい。

しかし、看護師や当直医の確保が難しく、夜勤帯の救急搬送依頼は応えられない症例があることが課題である。

また、多数の重症人工呼吸器患者を抱えることから、平均在院日数が長期化する傾向にある。そのため、入院日数による区分（急性期一般入院基本料）では、在院日数が長期の群に該当するため、看護配置が低く算出されている。

重症呼吸器管理患者を多く抱えるがゆえに、平均在院日数が長期化し、入院患者の重症度と大きく乖離した低い看護配置にならざるをえないという矛盾が、当院の課題である。



### 地域において今後担う役割

まずは立院の精神である、救急救命に基づいて、看護師、医師、技師の確保に努め、夜間の救急の受け入れ体制を充実させることで、右京区における救急医療の中核病院の役割を担いたいと考えている。

また、高齢者医療の比重がますます大きくなっていく中で、糖尿病、腎臓病、心臓病などの生活習慣病を、多数重複して有する高齢者の慢性疾患管理は、いっそう重要になると考える。

当院の、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科の医師のマンパワーを活かし、糖尿病、腎臓病、心臓病などの生活習慣病を複数有する患者に対して、同一病院内で連携の取れた医療を提供し、慢性疾患管理を重点的に行える中核病院としての役割を果たしたい。

とりわけ保存期腎不全患者については、腎代替療法導入を可及的に遅らせ、できれば導入せずに済むよう、糖尿病・内分泌内科、循環器内科の医師らによる専門性の高い医療を提供したい。

患者主体の医療を実現するため、糖尿病や慢性腎臓病の教育入院といった、入院機能を活かした患者教育、予防医療を展開したい。

やむを得ず、腎代替療法導入が必要となる症例については、当院で提供可能な腎代替療法（血液透析・腹膜透析）を中心として、患者や患者家族が、主体的に、患者本人のライフスタイルに合った腎代替療法を選択できるよう、適切な支援を行いたい。

上記を通じて、京都市西部における、腎臓病治療の一翼を担いたい。

一方で、近隣の診療所、クリニックとの連携を強化し、近隣在住の高齢者のレスパイト入院を積極的に受け入れ、地域に根ざした在宅復帰支援病院としての役割を果たしたい。

## 今後の展望

### 1. 急性期入院機能を提供する

今後も、地域住民が、住み慣れた地域で、安心して救急医療を受けられるよう、二次救急輪番病院として、一次・二次救急の受け入れ体制をより充実させる。人工呼吸器管理など医療ニーズが高い患者に、必要な医療資源を提供する。

### 2. 高齢者の慢性期疾患管理（血液透析・腹膜透析を含む）の充実

当院の腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科の医師を中心に、高齢者の、糖尿病、腎臓病、心臓病などの慢性期疾患を、重点的に行なう。

とりわけ、腎臓病においては、京都市内の他病院の腎臓内科・糖尿病・内分泌内科、あるいは、診療所・クリニックの一般内科の医師らと連携し、透析予備軍となりうる糖尿病患者の早期からの治療介入、保存期腎不全や、腎代替療法導入前後の末期腎不全患者の管理、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎などの腎臓病患者の治療を、京都市西部において重点的に提供していきたいと考えている。

### 3. 在宅復帰支援病院としての機能の拡充

入院設備のない近隣の診療所、クリニックとの連携を強化し、高齢者の自宅からの入院（レスパイト入院、社会的資源調整目的での入院を含む）、および自宅への退院支援を行なう。

## 病院の役割と今後について

### 【基本情報】

病院名	医療法人社団・松仁会 内田病院			
所在地	京都市右京区梅津大縄場町6-9			
許可病床数	63床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 (非稼働病床)	一般 63床 (0床)	医療療養 0床 (0床)	介護療養 0床 (0床)	
主な診療科目 (上位3つ)	消化器内科	循環器内科	整形外科	
病床機能	高度急性期 0床	急性期 63床	回復期 0床	慢性期 0床
主な病院機能	地域医療を担うかかりつけ病院 在宅支援を担う病院			

#### 例示

- ①周産期医療〇〇病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅療養あんしん病院に登録し、在宅療養中の高齢者が体調を崩したときに、スムーズに病院で受診し、必要に応じて入院ができるよう体制整備を図っている。</li> <li>○地域の高齢者施設の体調不良や転倒など怪我急変に対応し、必要に応じて入院を受け入れている。</li> <li>○近隣の診療所からの紹介により必要な検査診察などを行い、必要に応じてスムーズに入院を受け入れ、退院後も診療所との連携を図っている。</li> <li>○院内の複数診療科での情報を効率的に共有し、必要に応じて高度専門医療を提供する医療機関へ紹介している。</li> <li>○既存の設備・医療提供体制を活用した健康診断・人間ドックなど予防医療の提供とこれに伴う早期受診を積極的に推奨している。</li> </ul>
<p>自施設の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退院支援の強化</li> <li>○在宅医療・訪問看護の体制強化</li> </ul>
<p>地域において今後担う役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域密着促進</li> <li>○高度専門医療の提供</li> <li>○高齢者等幅広いニーズへの対応</li> <li>○予防健診の強化</li> <li>○在宅支援機能の強化</li> </ul>
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○かかりつけ病院としての在宅支援機能の強化</li> <li>○退院支援の強化</li> <li>○在宅医療・訪問看護の体制強化</li> </ul>

# 病院の役割と今後について

## 【基本情報】

病院名	医療法人新生十全会京都双岡病院			
所在地	京都市右京区常盤古御所町2番地			
許可病床数	677床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 （非稼働病床）	一般 床  （ 床）	医療療養48床  （0床）	介護療養 床  （ 床）	
主な診療科目 （上位3つ）	内科	精神科	神経内科	
病床機能	高度急性期 〇床	急性期 〇床	回復期 〇床	慢性期48床
主な病院機能	精神科病院 677床 （精神科病床 569床・精神療養病床 60床・医療療養病床 48床） 難病医療協力病院 在宅療養あんしん病院			

### 例示

- ①周産期医療〇〇病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

## 【現状と今後について】

自施設の現状	<p>当院は長年にわたって、高齢者医療、特に精神科病院である特性上、認知症の人のBPSD増悪時や身体合併症の入院治療に取り組んでいます。BPSDに関しては、まずその発現に関連する因子や増悪・改善要因を評価します。そして各個人に適合したケアプランを作成し実施します。BPSDが高度で他の患者や周囲に危害が及ぶ可能性がある場合は薬物療法を考慮し、できるだけ早期にBPSD関連要因の評価とケアプランの立案を行います。BPSDが高度でない場合はまず非薬物療法（作業療法など）を試みてから薬物療法を考慮します。抗精神病薬は有害事象の危険性が高いために、各種委員会で、繰り返し注意喚起しております。</p> <p>当院では患者の人権にも配慮し、精神科特有の身体的拘束などの行動制限に関しては原則ゼロを掲げており、ここ最近では実施しておりません。精神科病院特有の保護室も保有しておりません。</p> <p>身体合併症に関しては、精神科身体合併症管理加算をとるなどして、長年にわたり取り組んでおります。</p> <p>認知症の人で注意しなくてはならない身体合併症は、高齢者をみる際に注意しなくてはならない疾患や病態と基本的には共通ですが、認知症の人では訴えが曖昧であったり、不正確なことがあること、通常みられるはずの訴えが全くないこともあるために、主治医だけではなく多職種協働で係り、必要に応じて他科専門医とも連携をとりながら、他医療機関を受診するなどして、より積極的な診療を実施しております。</p>
自施設の課題	<p>当院は、開院から現在に至るまで高齢者への医療と看護・介護サービスの専門病院として、多くの実績と経験を積み重ねてきました。認知症疾患の軽度の方から重度の方、自立の方から寝たきりの方まで、患者の幅広い症状に応じて、最適な医療・看護・介護を、包括的に提供してきました。</p> <p>但し、認知症も重度になりますと、リハビリには繋がらなくなり、寝たきり状態となり、口からは食べられなくなり、心不全や呼吸不全を合併し、長期入院にならざるを得ない現実も強く感じております。そのため、早期発見、早期対応のシステムの構築、とりわけ地域連携型医療の充実が重要であると考えております。</p>

地域において今後担  
う役割

現在、「予防・初期～ターミナル期」まで、さまざまな高齢者医療に係る対応の相談や入院の受け入れを要請されております。

医療・介護・生活支援の体制をスムーズに構築するため、かかりつけ医、関係医療機関、介護機関等との連携を構築しております。認知症に関する正しい理解を広めるため、関係機関や医療従事者に対して、啓蒙や情報発信を積極的に行っております。具体的には、右京医師会と連携しながら、在宅療養あんしん病院に登録し、高齢サポート（地域包括支援センター）や地域介護予防推進センターとも連携し、地域ケア会議等にも積極的に関わり、地域住民への啓蒙等を行っております。

また、早期発見、早期鑑別診断、早期対応ができる体制づくりのために、認知症初期対応型カフェや介護予防運動教室の設置にも取り組んでおります。

これまでの経験を活かし、認知症だけではない高齢者に係る専門的医療機関として以下の役割を担います。

① 鑑別診断とそれに基づく初期対応

- (ア) 初期診断
- (イ) 鑑別診断
- (ウ) 治療方針の選定
- (エ) 入院先紹介と受入れ

② 周辺症状と身体合併症への急性期対応

- (ア) 周辺症状・身体合併症の初期診断・治療（急性期入院医療を含む）
- (イ) 周辺症状・身体合併症の急性期入院医療を要する認知症患者のための病床として、連携する医療機関の空床情報の把握

③ 専門医療相談

- (ア) 初診前医療相談
  - a、患者、家族等の電話・面談照会
  - b、医療機関等紹介
- (イ) 情報収集・提供
  - a、区役所・支所保健福祉センター等との連絡調整
  - b、地域包括支援センターとの連絡調整
  - c、認知症疾患医療センターとの連絡調整
  - d、認知症初期集中支援チームとの連絡調整

また、近年は精神科病院の垣根は低くなり、精神疾患の軽症化、多様化を踏まえ、2018年8月より、外来（精神科、心療内科）を開設しました。これにより、地域住民や医療・介護関係者との顔の見える関係を構築することにより、若年から高齢者まで、様々な人の生活の維持に必要となる医療・介護を提供する地域連携型医療の実現に貢献したいと考えております。

今後の展望

現在、当院は改築中であります。病院が新しくなることに向けて、外来の開設や地域連携室の機能を拡張しております。そうすることで、より充実した役割分担、地域連携型医療の構築に努めております。これにより、認知症に限らない様々な精神科疾患に対応可能となります。

一方で、長年の経験を生かして、本人、家族等が主体の医療・介護等を基本に据えながら、自法人の活動の枠組みに捉われず、認知症患者、家族等の視点、地域の公益的活動の視点、公正中立な視点で、認知症の容態の変化に応じて、有機的に連携された医療・介護等を、適時・適切に切れ目なく提供することで、認知症の人が住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができるようにします。このため、早期診断・早期対応を軸とし、BPSD や身体合併症等が見られた場合にも、医療機関・介護施設等での対応が固定化されないように、退院・退所後もそのときの容態にもっともふさわしい場所で適切なサービスが提供される循環型の仕組みを構築します。



## 病院の役割と今後について

### 【基本情報】

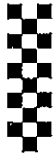
病院名	医療法人弘正会 西京都病院			
所在地	京都市西京区御陵溝浦町 24 番地			
許可病床数	199 床（一般病床、療養病床の合計）			
病床の種別 （非稼働病床）	一般 199 床 (0 床)	医療療養 0 床 (0 床)	介護療養 0 床 (0 床)	
主な診療科目 （上位 3 つ）	人工透析内科	内科	整形外科	
病床機能	高度急性期 0 床	急性期 40 床	回復期 0 床	慢性期 159 床
主な病院機能	①救急告示病院 ②在宅療養支援病院			

#### 例示

- ①周産期医療〇〇病院（センター）
- ②救命救急センター（三次）
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院（在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院）
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中（急性期）・（回復期）・（維持期）を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞（急性期）・（回復期）を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

## 【現状と今後について】

<p>自施設の現状</p>	<p>○二次救急病院として、救急患者の受入を積極的に行い、急性期機能を担う病院として医療を提供。</p> <p>○在宅療養支援病院の強化型として、地域の在宅療養支援診療所と連携を図り、在宅療養中の高齢者の急変時や、看取りに対応できるよう体制整備を図っている。</p> <p>○透析ベッド 65 床を備え、夜間透析も実施し、地域の透析医療を担う病院として積極的な受入をしている。</p>
<p>自施設の課題</p>	<p>○西京区の病院密集地域に位置しており、各病院において異なった特色をもち、当院では地域の方々の医療ニーズに応えられる体制を目指して、急性期医療を担い、且つ他院にない「長期療養が可能な病院」としてケアミックスを導入してきましたが、診療科目等の整理を行う必要性が生じてきた。</p>
<p>地域において今後担う役割</p>	<p>○在宅療養中の高齢者が安心して療養できるように、現行の在宅療養支援病院の連携を維持、拡張し、有事には円滑に入院治療を提供できること。</p> <p>○透析患者について、合併症を伴う、または重症度の高い患者を受け入れ、入院透析を実施する。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>○ハード面において、建物が老朽化しており、耐震、防火、アメニティの改善、業務の合理化等、様々な問題解消を目的として、数年のうちに建て替え、移転の実施が急務となっている。</p> <p>○この建物更新に伴い、透析医療に特化した体制強化が今後の存亡に関わってくると感じている。</p>



## 病院の役割と今後について

### 【基本情報】

病院名	医療法人清仁会 シミズ病院			
所在地	京都市西京区山田中吉見町 11 の 2			
許可病床数	148 床 (一般病床、療養病床の合計)			
病床の種類 (非稼働病床)	一般 143 床 (20床)	医療療養 床 ( 床)	介護療養 床 ( 床)	
主な診療科目 (上位3つ)	脳神経外科	内科	外科	
病床機能	高度急性期 18 床	急性期 125 床	回復期 ○床	慢性期 ○床
主な病院機能	救急告示病院 脳卒中 (急性期) を担う病院			

#### 例示

- ①周産期医療○○病院 (センター)
- ②救命救急センター (三次)
- ③救急告示病院
- ④地域災害拠点病院
- ⑤原子力災害拠点病院
- ⑥へき地医療拠点病院
- ⑦在宅支援を担う病院 (在宅療養支援病院、在宅療養後方支援病院)
- ⑧地域がん診療拠点病院
- ⑨脳卒中 (急性期)・(回復期)・(維持期) を担う病院
- ⑩急性心筋梗塞 (急性期)・(回復期) を担う病院
- ⑪難病医療協力病院
- ⑫エイズ拠点病院

## 【現状と今後について】

自施設の現状	<p>○救急患者等の受入を始め、脳卒中ケアユニットを有し、高度急性期・急性期機能を担う病院として医療を提供している。</p> <p>○在宅療養あんしん病院に登録し、在宅療養中の高齢者等が急変や体調不良の際に円滑に診療が行える体制整備を図っている。</p>
自施設の課題	<p>○救急医療を担う病院として、引き続き脳卒中等の脳疾患患者の受入と併科疾患への対応を強化する。</p> <p>○消防機関（救急隊）との連携により、メディカルコントロールを充実させ、迅速で質の高い医療を提供する。</p> <p>○地区医師会等との連携をより一層強化、継続し地域の病院、診療所との役割の分担を行う。</p>
地域において今後担う役割	<p>○脳卒中を始めとする脳・脊髄神経疾患の高度で専門的な医療を継続し地域の救急医療を担う中核病院として近隣医療機関と連携し地域医療を充実させる。</p> <p>○グループ間ならではの迅速な連携と充実した情報提供により、継続的で最適な医療・ケアを行う。</p> <p>○脳卒中患者の動向を把握・検証するとともに、地域での脳卒中予防対策や啓蒙活動を積極的に行う。</p>
今後の展望	<p>包括的脳卒中センターとして、救急受入やホットラインの活用により 365 日 24 時間高度な脳神経外科的治療および血管内治療を迅速に実施する。また、脊髄神経疾患にも対応し、専門性が高く幅広い診療を行う。</p>